

採 択 理 由 書

種目名	国 語
-----	-----

発行者 番 号	発行者 略 称	記号・番号	教 科 書 名
3 8	光村	国語 038-72 国語 038-82 国語 038-92	国語 1 国語 2 国語 3

（採択理由）

（内容）

<知識及び技能が習得できるための工夫>

単元最初のページに言葉（美しい日本語）が紹介しており、その言葉をイメージしやすい落ち着いたものがある写真がある。また、言葉に学年に応じた「語彙ブック」がついており、使用語彙を増やしていくための手がかりとして活用できる。こういった言葉に関心をもてるような工夫が多くある。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

教材が比較的、難しいものが多い反面、「学びへの扉」や「学びのカギ」などによって、学ぶことが焦点化されたつくりになっており、資質・能力が身につけやすいつくりになっている。また、言葉をテーマにした文章が多く、言葉のもつ力について考えることができる。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

国語で身に付けさせたい力だけでなく、中学生の心に響かせたいメッセージが込められた教材が多い。取り扱っている教材や内容は高度で難しさはあるが、教材や単元構想がよく練られており、ねらい通りの学びに導きやすい。また、令和 7 年度以降の学力学習状況調査の CBT 形式に対応したコンテンツもある。

<組織・配列・分量>

古文教材が 1 単元にまとめられておらず、1 年間の中で分けて学習できる。また、単元構成における関連性が明確（例→3 年：俳句の学習）であり、指導しやすい。

（形式）

<資料>

古典の資料ページが詳しく充実しており、年表も入っているので、それぞれの作品の時代が一目でわかる。

<表記・表現>

教材の最後にある「学びへの扉」のページが横書きで表記しており、学習の流れが分かりやすい。また、他者に比べ、句読点の打ち方にこだわりを感じ、教材の細部まで大切にしていることが分かる。3 年生の「故郷」では人物名がカタカナ表記（他者は漢字）であり、読みやすい。

（総括）

教材自体に力があり、中学生の心に響かせたいメッセージ性の強い作品が多い。そのため、読み解けたときには心に残るものが多く、国語という教科を通して心の育成もねらうことができる。また、教師の学ばせたいことを明確に指導しやすい。単元構想が非常に魅力的で全体的によくまとまっている。

採 択 理 由 書

種目名	書 写
-----	-----

発行者 番 号	発行者 略 称	記号・番号	教 科 書 名
3 8	光村	書写 038-72	中学書写 一・二・三年

（採択理由）

（内容）

<知識及び技能が習得できるための工夫>

筆圧の強さが図（数字）でわかるようになっており、基本練習をする場合に役立つ。また、各手本の右上には穂先の動きもわかるように示してある。QR コードの「他の文字にもチャレンジ」を用いて、手本以外の多様な字でねらいにせまることができる。手紙の書き方に関する説明が詳しいので、書写の時間だけでなく、トライやる・ウィークのお礼状書きなどでも活用できる。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

手紙など、日常生活の中で活用できる教材が多い。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

兵庫県に関連するものが多く、入学願書の書き方やメール・プレゼンテーション・デジタル付箋などの通信文の書き方（体裁）なども掲載されており、生徒が関心を持ちやすい。

<組織・配列・分量>

のし袋の書き方やノートの使い方に関する記載が他者にはあるがない。

（形式）

<資料>

別冊の書写ブックがあり、教科書で確認しながら硬筆課題に取り組みやすい。

<表記・表現>

半紙原寸大の手本であり、全ての手本に名前の手本もある。そのため字の大きさやバランスを考えながら手本を活用することができる。また、教科書自体が机上に書道セットと一緒に置いて使うことができる大きさであることも使いやすい。半紙の手本と同じページに書き順や筆先の動きがわかる記載があることにより、書く際の注意を促すことができる。

（総括）

比較的短所が少なく使用させたい特徴が多い。特に原寸大の手本がある上、名前も記入されているので、そのまま配置を指導することができる。また別冊の書写ブックを利用して毛筆以外での書写にも取り組めるなど、活用しやすいポイントが多くある。

採 択 理 由 書

種目名	社会(地理的分野)
-----	-----------

発行者 番 号	発行者 略 称	記号・番号	教 科 書 名
4 6	帝国	地理 046-72	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土

(採択理由)

(内容)

<知識及び技能が習得できるための工夫>

小学校までに学習してきた内容や中学社会科の他分野とも関連する項目が記載されているため、既習内容を繰り返し学習することができ、知識の定着が図りやすい。また、要所で「技能をみがく」で、資料の活用や学習内容を活用した探求活動をして生徒に身につけさせたい力を育成することができる。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

教科書内で使用されている図やグラフに様々な工夫が施されており、資料から読み取る視点や学習活動が明記されているので、生徒にとって学習活動に取り組みやすいものとなっている。また、地図帳も活用しながら学習を進めていく際に、地図帳を使った活動が書いてあるページもあるので地図帳活用の一助となる。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

教科書内で使用されている図や写真等が大きく、鮮やかなものでとても見やすい。授業の導入で提示すると生徒の興味関心を喚起しやすいものとなっている。

<組織・配列・分量>

単元ごとに単元を通した問いが設定されており、単元を貫いた問いを意識しながら毎回の学習を積み上げていくことができる。学力の低い生徒にとっても、ポイントを絞り着目点を明らかにすることによって学習に取り組みやすくなる。また、学力が高く応用的な要素にも取り組むことができる生徒にとっても、各ページ内の情報量は不十分なものではないので、様々な視点から応用的に取り組むことができる。

(形式)

<資料>

写真資料はとても見やすいものが多い。デジタルコンテンツが含まれた QR コードも随所にあるので多くの資料や情報を活用しながらの学習や比較しながらの学習に取り組める。

<表記・表現>

見開きのデザインが統一されているので、着眼点もつけやすく学習を進めやすい。本文や資料の細かい表現も統一されているので、生徒たちは混乱をすることなく教科書を活用することができる。

(総括)

教科書の構成として、写真やグラフなど諸資料が充実しており、細部まで統一されている。内容としても単元を通した問いが各ページに記載されているため、課題を意識しながら学習に取り組むことができる。また、デジタルコンテンツも充実しており、個別学習にも取り組みやすくなっている。

採 択 理 由 書

種目名	社会（歴史的分野）
-----	-----------

発行者 番 号	発行者 略 称	記号・番号	教 科 書 名
1 1 6	日文	歴史 116-72	中学社会 歴史的分野

（採択理由）

（内容）

<知識及び技能が習得できるための工夫>

本文中の重要語句の説明に合わせて、図表、地図などの資料が示されおり読み取り活用が高めるための工夫がされている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

編ごとに、大まかな時代の捉え方と問いが示されている。それを元に、節以下の小单元ごとに課題が設定され、時代を理解できるように工夫されている。そのため、課題をこなしていくと、自然と時代をとらえ、歴史的課題や特徴を理解できるように工夫されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

学習課題が明確で、達成しやすい表現になっている。また、差別の歴史などもとりあげてあり、人権意識の向上につながる。

<組織・配列・分量>

組織配列も問題なく、授業構成に影響はない。時代の流れについても、時系列にそうだけでなく、項目ごとにまとめるなど配慮されている。

（形式）

<資料>

写真が大きく掲載されていて見やすく目をひく。データやグラフは少し小さいが、見にくいというほどではない。資料は適切に配置されているため、生徒たちも興味を持ち学習に取り組める。

<表記・表現>

単元を貫く問いが設定されていて、章・節それぞれに、関連する問が設定されている。見通しを持って学習を進めることができ、生徒たちも時代をとらえやすく、理解が深まる。

（総括）

全体的に資料も見やすく、単元を通しての学習課題を幹として、章・節に枝葉となる問が設定されていることによって、歴史全体の流れや時代感覚をつかみ取りやすく、内容を深めることができる。また、生徒の理解を助けるための関連資料がバランスよく掲載されている。生徒の歴史学習を深めるのに適している。

採 択 理 由 書

種目名	社会（公民的分野）
-----	-----------

発行者 番 号	発行者 略 称	記号・番号	教 科 書 名
2	東書	公民 002-92	新編 新しい社会 公民

（採択理由）

（内容）

<知識及び技能が習得できるための工夫>

教科書の欄外には、解説が書かれており、知識を深める工夫がされている。また各章の末のまとめが充実しており、重要語句が整理されている。また資料も示されており学習内容が簡潔にまとめられている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

課題を多面的に考察できるよう、見方・考え方のヒントが示されていることで、公民的分野で育成したい「社会的な見方・考え方」を意識させることができる。また現代の日本社会が直面する課題である防災や環境について、分野や教科を横断する問いが示されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

掲載されているコラムのテーマが多様かつ身近であり、学習する必要性を感じやすく、問題意識を持ちやすい。また各学習項目がわかりやすいフレーズで示されており、授業の導入に効果的に活用することができる。

<組織・配列・分量>

色使いやフォントが適切に配慮されたUD化されたものを用いており、読みやすく、分量も適当である。

（形式）

<資料>

グラフ、写真、新聞記事等がバランスよく用いられており、特に掲載されているグラフは、効果的に活用することによって、学習内容をより深く理解することができる。

<表記・表現>

各章の冒頭の活動は、イラストも多く学びの動機づけに使いやすい工夫がされている。表現も生徒に身近でわかりやすい言葉を使っている。

（総括）

現代の日本社会が直面しているさまざまな課題に対して、分野や科目を横断しながら多面的多角的に考察し、社会的な見方・考え方を育成することを意識した構成である。また、生徒の理解を助けるためのグラフ、写真、資料などが効果的に配置されている。

採 択 理 由 書

種目名	地 図
-----	-----

発行者 番 号	発行者 略 称	記号・番号	教 科 書 名
4 6	帝国	地図 046-72	中学校社会科地図

（採択理由）

（内容）

<知識及び技能が習得できるための工夫>

本書の冒頭に地図帳の活用の仕方についての記載があるため、地図帳の使い方を学ぶ授業のときに活用しやすい。地図だけでなく、各所に気候や産業面の特色がまとめられている図やグラフなどの資料も充実しており、情報を活用しながら地図を確認して地誌的な理解を図りやすい。また、各所に配置されている「地図で発見！」の問いを通して、地図の読み取りなどの地理的技能の定着が期待できる。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

同様の地図や資料だけでなく、様々な種類の地図や資料が記載されているので、生徒が思考するための材料となるものが豊富にあり、いろいろな視点から理解を深めることができる。特に資料図では、比較を通して地域の特色が考察できるように多くの資料で縮尺が統一されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

多くの資料が掲載されているため、生徒にとって目的の資料を見つけ、そこにたどり着くまでの過程は容易ではないことも考えられるが、資料を活用するためのスキルを身につけさせる機会になり得る。また、QR コードを読み取ると動画などの情報もあり、図やグラフだけでは難しい生徒はこの動画を活用し、視聴覚的な学習ができる。

<組織・配列・分量>

地図上に記載されている情報量としては適量である。地図上で知り得た情報に関してより深く知りたいと思ったことは、他ページの資料等を活用して学習を深めることができる。

（形式）

<資料>

写真等の資料も多く使われており、資料集としての要素もある。鳥瞰図も多数掲載され、地域の姿をより具体的にイメージできるようになっている。

<表記・表現>

地図帳全体を通してレイアウトが統一されているため、生徒も混乱なく活用できる。

（総括）

地図帳は地図上の情報量が多く、煩雑になりがちだが、文字のフォントやサイズ、色彩、イラスト等を効果的に使用したり、地図以外の資料で表記したりするなどの工夫で見やすくなっている。掲載されている多種多様な図やグラフを用いて、生徒の主体的な学びを促すことができ、資料活用の技術についても鍛錬することができる。また、地理的分野だけではなく、他の2分野の学習や総合的な学習など多目的に活用することができる工夫も施されている。

採 択 理 由 書

種目名	数 学
-----	-----

発行者 番 号	発行者 略 称	記号・番号	教 科 書 名
6 1	啓林館	数学 061-72 数学 061-82 数学 061-92	未来へひろがる数学 1 未来へひろがる数学 2 未来へひろがる数学 3

（採択理由）

（内容）

＜知識及び技能が習得できるための工夫＞

各単元の導入が非常に整理されており、基礎基本の学力定着へ結びつけやすい。また、章末問題にチェック欄があり、自己振り返りが行いやすい。

＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞

キャリア教育を意識した課題設定があり、数学が実社会につながる意図があるため意欲的に取り組めると考えられる。また単元によって帰納的に調べる場面と演繹的に説明する場面設定がわかりやすく設定されているため、筋道を立てて考えやすい。

＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞

章末問題は「確かめよう」「身につけよう」の2段階で学習できる設定があり、特に学習を発展させたい生徒にとっては進んで取り組みやすい形式となっている。また「数学広場」では問題にマークが記載してあることや入試問題にチャレンジという設定があり、個に応じた学習が可能である。

＜組織・配列・分量＞

問題量は十分であるのにスペースもあって見やすい配列である。また、「数学ライブラリー」で他教科へのきっかけを促している。一部の練習問題をオンラインに移行することなどでページ数が少なく教科書が軽い仕様だが職業に関する課題は少ない。

（形式）

＜資料＞

3年8章「標本調査とデータの活用」で引用されている調査データが令和3年であることなど、問題に関わる資料やデータが比較的新しいもので構成されている。

＜表記・表現＞

全ページカラー仕様であり、公式や重要語句は太字やアンダーラインなどで統一された目印がある。

（総括）

3学年のつながりや小学校・高校との連携までを考えた系統立てた構成で学習がしやすいと考えられる。また数学と実社会の関連性やSDGsなどの問題も取り上げられているため生徒たちの学びの意欲が広がっていくと思われる。

採 択 理 由 書

種目名	理 科
-----	-----

発行者 番 号	発行者 略 称	記号・番号	教 科 書 名
6 1	啓林館	理科 061-72 理科 061-82 理科 061-92	未来へひろがるサイエンス 1 未来へひろがるサイエンス 2 未来へひろがるサイエンス 3

(採択理由)

(内容)

<知識及び技能が習得できるための工夫>

「つながる学び」が章のはじめにあり、既習内容が確認でき、学びのつながりを確認できるようになっている。また、「〇〇ラボ」などの科学コラムで発展的な内容も充実していて高校へのつながりもわかるようになっている。実験観察では「ポイント」や「実験スキル」があり、注意点や細かい配慮が確認でき技術の向上につながる工夫がある。探究の過程がわかりやすく表記しており、学習の流れがわかりやすく知識を習得するための工夫が見られる。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

章末の力だめしの問題に対話文的な形式の問題や、巻末の探 Q シートなどを活用することで生徒の思考力を高める工夫ができるようになっている。また、「みんなで探 Q クラブ」で身につけた知識を活用して、発展的な内容につなげられるようにしてあり、判断力や表現力を高める工夫も見られる。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

各単元の扉ページにインパクトのある写真が掲載されており、生徒の興味関心を高める工夫がある。また、単元のはじめに「学ぶ前にトライ」「学んだ後にリトライ」があり、科学的な見方、考え方の変容が確認できるようになっている。そして、振り返りシートがダウンロードでき、1 枚のポートフォリオとして活用できるようにしてあり、自己の学習の振り返りが見える化できる工夫が見られる。

<組織・配列・分量>

見開きページの中央に集中しており、適所に写真とイラストが配置してあるのでとても見やすい教科書になっている。しかし、2、3 年生での生物・地学分野での実験観察が少し少ないと思われる。

<多様性・SDGs に関する内容について>

性別や人種等による役割を固定せず、服装や身体的特徴にも配慮しながら生徒一人ひとりが個人の価値を尊重しながら学習を深められるように配慮してある。また、学習内容から SDGs につなげられるように関連した内容のコラムが充実している。特に 3 年生の環境の分野で多く取り扱われており理科での知識を活用する意欲を高めることができている。

(形式)

<資料>

資料に兵庫県の資料が多く使われていて、身近に感じることができるようになっている。要所要所で、実社会・実生活との関連を図る内容が多く扱われていて学習内容の活用がしやすい資料が多い。(〇〇ラボ等) また、生徒がつまづきやすい計算問題や作図問題で復習したいときに使える「理科でよく使う算数・数学」があり、理科以外の学習とのつながりが見えるようにしてある。

<表記・表現>

周期表の色使いが以前と比べ薄くなった関係で金属・非金属の見分けがつきにくくなったが、資料、本文の区別があるので見やすい教科書になっている。

(総括)

学習の進め方として、導入、学習課題、予想、実験、考察、まとめの順に学習順序が確立しているので生徒自身が今何を学んでいるのかわかりやすくなっている。また、〇〇ラボ等で実社会、実生活との結びつけがあり、興味関心を高める工夫が多く見られる。実験観察では、探究の過程をわかりやすく表示しており、「ためしてみよう」や「別の方法にトライ」など実験内容にも工夫が見られ、生徒が自分でも試せるようにしてある。生徒が教科書を見て、疑問を見つけ、調べてみようと思える探究心を高める工夫がしてあり、使いやすい教科書である。

採 択 理 由 書

種目名	音楽（一般）
-----	--------

発行者 番 号	発行者 略 称	記号・番号	教 科 書 名
2 7	教芸	音楽 027-72 音楽 027-83 音楽 027-84	中学生の音楽 1 中学生の音楽 2・3 上 中学生の音楽 2・3 下

（採択理由）

（内容）

<知識及び技能が習得できるための工夫>

教材ごとに、目標や学習ポイント・楽典のポイントとなる要点が示されていて、この教材で何を学習するのか、どのように表現を工夫していくのか、音楽的な見方・考え方を働かせて学習するポイントなど、具体的にわかるようになっている。また、歌唱・合唱曲の縦型の歌詞表記や細やかなイラストや写真があることでわかりやすく、その曲のイメージを深めることができる。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

歌唱及び鑑賞の「学びのコンパス」や、イラストの口絵内に表現力を考えるきっかけが示されているので、学習した内容をより深め、表現の工夫につなげることができる。また、鑑賞教材では、楽曲理解を深めるために、作曲当時の時代背景なども記されているので、より学びを深めることができる。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

QR コードがあることで、カラピアノ表示での歌唱における主体的活動が期待できる他、鑑賞教材においても実際の録音に近い状態で聴くことができる。また、人選が最新であり、その人物の音楽との関わりやメッセージがあることで、より身近に音楽を感じることができる。さらに創作活動への導入として「My Melody」や「Let's Create」は、生徒にとって興味が持て、取り組みやすい。

<組織・配列・分量>

年間の学習計画に沿った流れであり、合唱教材が豊富にある。

（形式）

<資料>

写真の大きいページが多く、生徒の関心を寄せやすい。また、豊富な資料も興味を引く。

<表記・表現>

どの写真も鮮やかで美しいので、楽曲や歌唱曲の良さが引き立つように工夫がされている。作曲者の顔写真も受け入れやすい。

（総括）

年間指導計画にそった内容で教材が配列されているので扱いやすい。また、生徒にとって思考を深めるためのイラストのコメントや、表現力を培うための「学びのコンパス」、豊富な資料、鮮やかな写真等、工夫されていることが多い。教科書の表紙がポップであり、学年の教科書がつながっているなど工夫があり、生徒に受け入れやすいデザインになっている。

採 択 理 由 書

種目名	器楽合奏
-----	------

発行者 番 号	発行者 略 称	記号・番号	教 科 書 名
2 7	教芸	器楽 027-72	中学生の器楽

（採択理由）

（内容）

<知識及び技能が習得できるための工夫>

リコーダーの学習で、運指等、順序立てて奏法を身につけるように工夫されている。ギターのコード表で、押さえる位置がわかりやすく表現されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

リコーダーの学習で、表現を工夫するために、アーティキュレーションの工夫が早い段階で明示されている。箏の学習の中でも、一般教科書と同じように「My Melody」が織り込まれ、日本の音階での創作活動ができる。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

箏の学習やリコーダーの学習では、導入曲が扱いやすい。「学びのコンパス」があることで、表現の工夫をするきっかけがわかるようになっている。

<組織・配列・分量>

器楽の授業で扱いやすい楽器（リコーダーやギター・箏）が、前半に配列されている。

（形式）

<資料>

三味線のページで、一般教科書での鑑賞教材の内容と関連付けられている。「学びのコンパス」や「My Melody」が、一般教科書と関連付けられていて扱いやすい。

<表記・表現>

ポップな表紙で、生徒たちの興味を引くデザインになっている。字体が柔らかい印象を受けるので見やすい。

（総括）

伝統の枠を超えて、活躍する和楽器の紹介が増えた。分野を超えたジャンルが取り上げられていて

いる。

採 択 理 由 書

種目名	美 術
-----	-----

発行者 番 号	発行者 略 称	記号・番号	教 科 書 名
1 1 6	日 文	美術 116-72 美術 116-83 美術 116-84	美術 1 美術との出会い 美術 2・3 上 学びの実感と深まり 美術 2・3 下 学びの探求と未来

（採択理由）

（内容）

<知識及び技能が習得できるための工夫>

題材の提示数が充実しており、美術の幅広い分野から指導者の工夫に応じて、様々な授業展開が可能である。また、進度に応じて使用できる作家のインタビューや技法の動画が充実しているため、制作過程の展開に合わせて活用できる。ジャポニスムにおいて、日本美術が海外の作家に与えた影響を作品の提示だけでなく、大きな文化の流れも紹介されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

題材ごとの手順や用法が必要最低限の提示に留まっているため、発想や思考、表現の広げ方に自由度が感じられる。また「造形的なヒント」や「発想・構想の手立て」により、生徒がアイデアを膨らませ、自ら主題を見つけるための手立ても用意されている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

学年の発達段階に応じた題材設定になっていることで、生徒が主体的に学びやすい。さらに題材導入の動画が多くあることで、個別最適な学びに対応できる。（不登校生、別室登校生等、多様化した生徒の実情に合わせて学びができる。）

<組織・配列・分量>

兵庫県に関する内容が、複数取り上げられており、さらに防災に関する内容が、1年、2・3年上下にどの冊子にも取り上げられている。

<巻末（図工から美術へ）>

表紙作品について巻頭で詳しく取り上げられており、詳しく鑑賞することができる。しかし、1年巻頭ページでは、1年生にとって親しみにくい内容であり、図画工作からのつながりを持たせにくい。

（形式）

<資料>

2・3上下冊子に分かれていることで、生徒の実態に応じて横断的に利用できる。また、観音開きの折込ページでは、実際の屏風に見立てて鑑賞を楽しめる工夫がある。

<表記・表現>

彩度と明度を示す図に用いる色みについて、視覚特性を持つ子への配慮があり、色相環と色立体へのつながりがわかりやすい。また、各題材において、造形的な視点が分かりやすく明記されており、学ぶ内容が明確である。

（総括）

生徒が主体的に学ぶための入口となる鑑賞作品の提示や、発想構想の手がかりとなる表現のヒントが見やすくまとめられている。学年の発達に応じた段階別の題材設定がされており、3年間で系統性を持たせながら指導計画を立てていくことができる。また、視覚特性のある生徒への色の配慮、多様化した生徒の実態に対応していく資料動画など現代的な諸課題への対応がみられる。

採 択 理 由 書

種目名	保健体育
-----	------

発行者 番 号	発行者 略 称	記号・番号	教 科 書 名
2	東書	保体 002-72	新編 新しい保健体育

(採択理由)

(内容)

<知識及び技能が習得できるための工夫>

要点ごとに教科書内容が展開されている。知識を得るところから始まり、学習内容を広げるために自己への気づきや他者への気づきに目を向けやすい工夫がされている。また注釈の説明が細かいため、知識理解の習得を図りやすい。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

教科書の右下にある「活用する」は学習のまとめだけでなく、自己と他者の違いを理解しつつ課題解決学習に取り組む工夫がなされている。そのため、新学習指導要領（平成29年度告示）の保健分野に関する目標（2）の「健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う」に迫りやすいと考えた。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

どの教科書でも見出しの内容に関しての工夫がなされている。ただし、本教科書に関してもっとも印象的だったのは「自然災害による危険」において、被災者の中学生作文を冒頭に出すことにインパクトを覚えた。このことにより中学生の心情を刺激し、学ぼう、理解しようの気持ちを湧き立たせ、より内容に迫りやすい構成になっていると考えた。また今の中学生視点というよりも、生涯に渡っての視点で内容に迫っていると感じる。

<組織・配列・分量>

文章量と資料のバランスがよく、資料のサイズも適当である。情報量が多いにも関わらず、キーワードが読み取りやすいと感じる。余白が少ないため、やや1ページに凝縮されている印象はあるが、全体的に統一感があり、授業者も授業を受ける側も内容を理解しやすい表記になっていると考える。

(形式)

<資料>

必要に応じて資料の量を調整してある。大きさも適当で、文章を中心とした構成になっている。資料の内容が細かく、内容をより理解するための補助的な役割を大きく満たしている。

<表記・表現>

文章表記が全体的に中学生の今から生涯に渡って考えを促すようになっていると感じる。またキーワードとなるものが明確で、効果的に太文字になっており読み取りやすい。

(総括)

文章を読み、理解することを基本とし、資料がその補助となっているバランスの良い教材となっていると感じる。学習内容に応じて情報量や資料を調節してあり、人権に関わる内容では中学生作文を冒頭に出すなど、人間性の向上を促す細かい工夫がなされていることが印象的だった。文章量が多いと感じる部分もあるが、全体的には学習を進めやすく、生徒も内容理解に努めやすい教材と感じる。

採 択 理 由 書

種目名	技術・家庭（技術分野）
-----	-------------

発行者 番 号	発行者 略 称	記号・番号	教 科 書 名
6	教図	技術 006-73 技術 006-74	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する 新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト

（採択理由）

（内容）

<知識及び技能が習得できるための工夫>

各項目の最初にキーワード・めあてが示されていて、授業者・学習者ともに見通しをもって授業に臨むことができる。作業をする授業においては、付随のスキルアシストの冊子を利用することが考えられる。スキルアシストは基本的な作業の方法が載っていることはもちろんだが、教科書本誌よりも薄くなっており、携帯しやすく、作業の邪魔になりにくいという利点も考えられる。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

各編のまとめとして、知識技能を深める問題、思考力・判断力・表現力を高める問題、主体的に学習に取り組む態度を促す問題が掲載されている。授業で身につけた知識や技能の活用を促すことができると考えられる。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

巻頭資料にあるガイダンスを利用して、初めて学ぶ「技術」への興味関心を高めさせることができる。また各編の最初に、技術の利用例が大きな写真などで紹介されており、学習内容への意欲付けができる。「スゴ技・技ビト」などにより、日本の技術への興味・関心を高めることができる。

<組織・配列・分量>

学力の三つの柱と対応した章立てで構成されており、次第に「技術の見方・考え方」が育まれるようつくりになっている。また教科書の最後に、各領域にまたがる総合的な内容が掲載されている。丁寧な作業手順と豊富な資料によりスムーズに作業を進められると考える。

（形式）

<資料>

別冊のスキルアシストにより、生徒自身が実習中に確認することができる。またQRコンテンツも豊富に準備されている。

<表記・表現>

全体的に写真や絵が多く使われており、また配色にも工夫がされているため、理解がしやすい構成になっている。

（総括）

総合的・客観的に評価したときに、学習内容の理解・深化も進み、使い勝手も良さそうである。

採 択 理 由 書

種目名	技術・家庭（家庭分野）
-----	-------------

発行者 番 号	発行者 略 称	記号・番号	教 科 書 名
2	東書	家庭 002-72	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して

（採択理由）

（内容）

<知識及び技能が習得できるための工夫>

本文を補足したり、応用したりする内容は、「資料」などのコラムで記述されており、まとめの活動を設け、知識の定着を図っている。また技能の習得のために、多様な実習例を他社に比べて多く取り上げているため、生徒の実態に応じた実践的・体験的な学習活動が行えるように工夫されている。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

各編の導入は見開きで構成し、資料性の高い写真やイラストなどを多く用いて生徒の興味・関心を高め、見方・考え方の例を示してあらゆる視点から考え、問題解決的な学習へと結び付くように配慮されている。活動例や生活の課題など様々な場面で様々な思考ツールを活用することで自分の考えを具体化し、表現することができる。この思考ツールを採用しているのは東書のみである。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

各節の始めにレッツスタートで「目標」と「初めの活動」、「学習課題」をあげ、見通しと課題意識を持って学習を進めることができるとともに、最後に「生活に生かそう」「まとめよう」を設け、自分で学びを振り返り、自己調整力を高める機会となるように工夫されている。

<組織・配列・分量>

衣食住の生活の内容が教科書の前半に位置づけられ、他者よりもレポート例などが充実しており、生徒が自ら学習する際の参考として工夫されている。

（形式）

<資料>

兵庫県に関する内容について幅広く取り扱っており、東京書籍のみが播州織について掲載されている。二次元コードコンテンツが各ページに掲載されており、他者と比較しても動画や練習問題・クイズが多いため、生徒が興味を持って楽しく学習できる。

<表記・表現>

人権の尊重や平和で公正な社会をつくるために、年齢や性別、国籍を超えて共生することの大切さを考えることができるように工夫されている。また、ユニバーサルデザインの観点から配色とデザインについて配慮されており見やすくなっている。さらに、軽量の紙が使用されており生徒の身体的な負担も軽減されている。

（総括）

生徒が使いやすい基本フォーマットで、学びやすく教えやすい教科書の全体構成となっている。また理解と指導を支える二次元コードコンテンツが充実している。さらに、全ての生徒が学習しやすいように、男女共同参画社会や多様性など共生の視点を重視し、性別や国籍、世代を超えて、共に生活することが想定されている。教科書の重さが軽量なことは身体的負担の軽減となっている。また小学校家庭科との系統性も重視されている。

採 択 理 由 書

種目名	英 語
-----	-----

発行者 番 号	発行者 略 称	記号・番号	教 科 書 名
1 5	三省堂	英語 015-72 英語 015-82 英語 015-92	NEWCROWN English Series 1 NEWCROWN English Series 2 NEWCROWN English Series 3

（採択理由）

（内容）

<知識及び技能が習得できるための工夫>

生徒にとって身近な題材から文法事項の導入がされている。文法の習得に向けて、聞く・話すなどの活動が豊富に取り入れられており、運用しながら知識技能の習得ができるようになっている。最後には書く活動につなげられており、音から文字への橋渡しが丁寧である。

<思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫>

教科書の見本を参考に会話をする活動をしなが、会話の進め方（リアクションや質問）を学ぶ機会がある。対話を中心にスピーチやライティングといった様々な表現活動がバランスよく取り入れられている。

<学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫>

実生活に基づいたストーリー展開や中学生の視点を反映した題材が使用されており、親しみやすい資料が中心として配置されている。またバックグラウンドが多様な登場人物の日常生活を通して様々な価値観を受け入れ、人権意識を高めることができるものとなっている。

<組織・配列・分量>

小学校で学んだ表現をビンゴやアンケートといった興味を持てるような活動で復習できるようになっている。また、単元の Goal Activity はスピーチといった話す活動ばかりではなく、長文を読んだり、それに対して返事や意見を書いたりといった4技能をバランスよく活用するような活動が取り入れられている。

<デジタル教材>

本文アニメーション、基本文ドリル、単語の練習、発音チェック、口の動きを視覚的に確認できる発音図鑑など、デジタル教材が豊富である。文法・英単語の習得に向けたプロセスが整理されており、授業でも、家庭学習でも活用できることが想定される。これらには、色反転や文字色の変更など生徒の特性に応じた支援機能が付随しており、生徒支援の観点からも有効である。その他、基礎基本から応用・発展まで幅広いワークシートが準備されており、教員の教材準備の負担が軽減される。

（形式）

<資料>

1年生の My dictionary は、1年生初期の自己表現のツールとして使いやすい。

<表記・表現>

各パートの見開きに含まれている情報量が多く見にくい、指導者・学習者にとって負担感を感じるのではないかと考えられる。

（総括）

音から文字への橋渡しが丁寧である。また、新出英文法に加え、英文法が自然な会話の中で学ぶことができる。多様な生徒に対応した内容になっている。教員にとっては教科書の内容が潤沢に準備されているため、生徒の実態に合わせて指導の難易度を変更することが可能である。またデジタル教材や付属のワークシートも豊富であるため教材準備の負担感も少ない。

採 択 理 由 書

種目名	道 徳
-----	-----

発行者 番 号	発行者 略 称	記号・番号	教 科 書 名
1 7	教出	道徳 017-72 道徳 017-82 道徳 017-92	中学道徳 1 とびだそう未来へ 中学道徳 2 とびだそう未来へ 中学道徳 3 とびだそう未来へ

（採択理由）

（内容）

<道徳科の目標に関わる工夫>

道徳的価値に迫る発問が練りやすく、内容項目について深く考えられる資料が多い。また、国・世代・文化・人権課題など様々な視点で書かれた資料が豊富にあり、多角的多面的な視点から道徳的価値に迫ることができる。さらに、道徳教育において重要な課題である「いじめ」について考える資料が多く掲載されている。

<現代的な課題などの題材を教材として取りあげるうえでの工夫>

情報モラルを考える資料では学年ごとにテーマが設定されており、情報活用力を育む構成となっている。個性を受け入れ、自分らしく生きる人物のコラムが複数掲載されており、生徒たちが多様性に触れ、確かな人権感覚を培うことのできる教材として活用することができる。

<発達の段階に即しつつ、深く考えさせ、ねらいを達成する工夫>

小学校から中学校、さらにその先の進路とのつながりを意識して生徒の発達段階に即したものになっている。例えば、小学校の学習からつながる資料が1年生の冒頭に掲載されていることや、3学年にわたり、同じ人物が登場する三部作の資料によって生徒が登場人物に共感しながら考えられるなど、資料配列に工夫がある。また、物語の時代背景が比較的現代のものが多かったり、写真・絵本・漫画などを適切に活用したりと、生徒が内容理解しやすい工夫がされている。

<「考え、議論する道徳」を通して道徳性を育成する工夫>

どうすれば問題を解決できるのか、さまざまな考えを出し合う問題解決の手法や、生徒がその立場を演じることで多角的な視点を持つことができるロールプレイなど、多様な指導方法を取り入れられる資料が多い。また、答えが一つでない問いを考え続けることで、自分の判断や生き方と関連付けながら議論できる資料も掲載されている。

<組織・配列・分量>

道徳を学ぶ意義について考えるページと振り返りのページがあり、1年間の学びの導入やまとめとして効果的な資料とし配置されている。また、一つ一つの資料の文章量が長すぎず、一コマの授業でしっかり考えを深められる適度な分量の資料が多い。

（形式）

<資料>

「裏庭での出来事」「二通の手紙」「卒業文集最後の二行」など長く読みつがれてきた魅力的な定番教材が多く掲載されている。また、各資料のはじめに内容項目を簡単に知らせるマークがあり、考える内容を焦点化しやすい。多様な考えを求めるような資料にはワークシートのような記入欄があり、学びを深めるのに効果的である。

<表記・表現>

写真やイラスト、文字の大きさや分量は適切である。

（総括）

以上、多面的・多角的に考えられたり、議論によって考えを深められたりする資料が多く、道徳科の目標に迫ることのできる教科書であると考えられる。